

令和6年度第3回花巻市東和地域協議会 会議録

令和6年11月5日（火）午後3時～

東和総合支所第1会議室

出席者

氏名	所属等
佐々木 泉	東和地域区長会会長
石川 隆敏	土沢地域づくり会議代表
菅原 勇一	田瀬地域コミュニティ会議会長
菊池 忠彦	花巻商工会議所東和支部会長
千葉 功	東和町体育協会副会長
菊池 一良	花巻市社会福祉協議会東和支部長
武政 文彦	土澤アートクラフトフェア実行委員会委員長
川村 智子	東和棚田のんびり RUN 実行委員会会長
小原 千賀子	東和地域民生委員児童委員協議会委員
松葉 孝博	東和地域教育振興運動実践協議会会長
小原 節子	宮澤賢治東和の会会長
岡田 早希	あそびばMAP づくり実行委員会会長
佐々木 恵子	東和町婦人消防協力隊隊長
川井 縁	公募による者

市

小原 賢史	財務部契約管財課長
吉田 幸弘	財務部契約管財課長補佐兼公共施設管理係長
菅原 由紀子	財務部契約管財課公共施設管理係主査
中島 昂平	財務部契約管財課公共施設管理係主査
藤井 淳	東和総合支所長
伊藤 潤	東和総合支所地域振興課長
清水 賢子	東和総合支所市民サービス課長
及川 昌規	東和総合支所地域振興課長補佐
藤川 浩悦	東和総合支所地域振興課地域づくり係上席主査

議事

（１） 会長及び副会長の選任について

互選により会長を松葉孝博 委員、副会長を川村智子 委員に決定された。

（２） 花巻市公共施設マネジメント第2次実施計画（素案）について

財務部契約管財課より説明

○小原 契約管財課長 資料により説明

○松葉 会長

ただいまご説明いただきましたが、皆様の方から質問ご意見等ございませんでしょうか。

●川井委員

計画作成に当たりまして、大変お骨折りをいただいた当局の皆さんは、心から感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

2、3気がついたところを確認提案させていただきたいと思いますが、まず資料1の1項目です。この計画は令和6年度から令和9年度までの4年間の計画と記載されていますが、通常、令和6年度は4月1日から始まるものだと思います。多分、総務省から令和6年3月末までに数値目標を定めるよう要請があり、それに手間取って、この時期になったということでしょうか。

○小原 契約管財課長

この計画の令和6年度から9年度までという計画期間について、4月にできてないとおかしいのではというご指摘と存じます。本計画の基本方針編については、平成29年から令和38年までの40年計画で、国からの要請を受けて、本年3月までに数値目標等を追加し、改訂しております。今般の第2次実施計画は令和6年が何故この時期になったかというお話については、この計画の上位計画である花巻市まちづくり総合計画の実施計画であります前期アクションプランが、今年の6月に策定となり、本計画との整合を図る必要があったこと、また、令和5年度までを計画期間とする本計画の第1次実施計画の実績を振り返って、それを新しい計画にフィードバックさせたいというところでかなり時間を要したというのが正直なところです。令和5年度の実績については、ようやくこの間の9月議会で決算の承認をいただきました。その状況もしっかり反映させていただいたというのが実態です。

●川井委員

本当にお疲れ様でした。

一つの方法としては、計画年度を重複させるなんていうこともよく他の自治体で、私もやっていましたので、その方法を使えばいいという感じはします。

私びっくりしたのは本文の表紙、「常に 40 年先を考える」、そこで 3 ページに、1 の括弧 1 の将来の人口統計として、2020 年から 2025 年までを推定していますが、計画を作る段階では、少なくとも令和 6 年から 9 年までの人口動態が、これ総務省でも多分出ていると思いますので、その辺を書いていただいた方が良いような気がしております。特にこの東和町では、人口減少が著しいので、その辺の人口動態がわかるのであれば、自分たちのまちづくりとかに参考になると感じています。これは提案です。

最後に、この計画を作るときには総務省からお達しがあり、「公共施設等総合管理計画策定指針の概要」で確認しましたが、その資料では、公共施設等総合管理計画に基づく老朽化対策の推進イメージとして、その中の計画を策定するときの推進のポイントには、①公共施設等の管理、②まちづくり、③国土強靱化という大括りの中で、まちづくりとしては、PPP/PFI の活用、将来のまちづくりを見据えた検討、議会・住民との情報及び現状認識の共有という記載があります。先ほどお話のあったまちづくりの総合計画の中には、まちづくりの考え方が書いてあると思います。この実施計画は、確かによく検討されて書いてありますが、この表紙にもあるように目指すべき将来のまちづくりのビジョンがもう作られてあるので、しっかり書いていただければ、この計画が生きてくるのかと。この 40 年先を考えると、ビジョンがしっかりしてないといけないと思うので、まちづくりの大きな考え方を明確にしてもらって、そこからいろいろな計画が出てくると思うので、それが明確になれば、もう少し美しいと感じるので、検討していただければと。

今すぐはできないと思いますし、東和地域でも少子高齢化と過疎化とか色々あるので、将来像のビジョンは明確にして、住民で共有、花巻市全体でも明確でないと、議論がかみ合わない気がして、目指すのはやっぱりこれだって言うのを示していただきたいと思います。以上です。

これは、検討していただければと思いますのでよろしくお願いします。

○松葉会長

他にございませんか。

●武政委員

用語の説明を、よくわからないので教えてほしいのですが、例えば横長の追加資料をみると、旧田瀬小学校は、第 1 次の方針は維持で、取組内容なし。第 2 次は、見直し・解体となっている。これは完全に維持を解体の方針に見直したって意味ですか。

田瀬湖交流センターは、1次は見直し・解体、2次も見直し・解体は、見直しを見直したってことではないですね。

この赤のマーカーの意味はどういう意味でしょうか。

○小原 契約管財課長

この計画だけで使用している用語で、大変わかりにくいところがあると思います。色につきましては、1枚目4つの方向性ごとの色を内訳には同色で示しているというもので、「見直し」はピンクとしています。見方については、例えば田瀬湖交流センターは、1次の方向性が見直し・解体、2次も見直し・解体っていうのは、1次の見直しという方針をさらに見直したというものではなくて、1次計画の際に立てた方針が、2次でも同じ方針だというものとして、ご覧いただければと存じます。

●武政委員

例えば、先ほど田瀬小学校の例では、維持から解体にランクが変わっています。

これはもう決定ということですか。もう少し、具体的に話しますと田瀬小学校を再利用したらどうかっていう動きを私は聞いているのですが、そういう話が出てきた場合の解体の見直しは、あり得ないということでしょうか。

○小原 契約管財課長

お答えいたします。非常にわかりにくくて申し訳ありませんが、今回この計画の中で示している施設ごとの方針は、あくまで花巻市側で考えている方針です。施設によっては、既に地域の皆さんから了解を得ているものもあれば、あくまで市として考えて、これから地域の皆さんと相談していくというものもあります。

●武政委員

それであれば意見として、こういった表が今後、市民にオープンになるときに解体というのは市の方針であって、今後の地元の意見っていうのが出てくると、それでまた状況が変わるということも付け加えていただいたほうが良いと思います。

この解体という表現を見ると、解体が決定したと市民は考えると思います。そういう細かなところをうまく吸い上げないと、市民参加は進まないのだと思っています。

○小原 契約管財課長

大変大事なお話だと思います。私どもも注意しながら、記載なり区分の仕方を慎重

に考えたいと思います。

○松葉 会長

はい、ありがとうございます。他にありませんか。はい、佐々木さん。

●佐々木委員

具体的な話ではないですが、最近、九州の方で台風による豪雨があり、その際に避難する場所があると思います。この中にも、廃止する施設は、老朽化だったりすると思うのですが、災害時に避難場所がなくならないよう、考慮していただければありがたいと思います。

具体的にどこという話ではありません。人口減少で、施設を減らさなきゃいけないのは当然だと思いますが、避難場所はある程度は残すか、新しく作っていただかないと逃げるところがないと思いますので、その辺を考慮いただきたいと思います。

あと、川村さんとか、若い方いらっしゃいますので、その方の意見も、ぜひ反映させていただきたいと思います。

若い人になると、いいアイデアが出るのだと思うので、よろしくお願いします。

○藤井支所長

今、具体的なところはないというお話でしたが、こちらで取り壊しをする際には、当然計画時点も含めて具体的に進める前に、コミュニティ会議にご相談させていただきながら、こういう形で進めますということを事前に協議させていただいております。あとは随時、コミュニティ会議からも今こういう形になっている、こんな話があるよっていう話も、逆に情報としていただいております。そういうところを見ながら、計画ではこう書いているけども、今、小原契約管財課長が申したとおりの部分が正直なところでございますので、武政委員がお話されたあの中身がちょっと違うんじゃないかっていうお話は、もしかしたら出るのではないかなというところは、感覚的にはこちらでもございます。

そういう意味では、ちょっと計画としては現在の方向性をまずお示しして、今も案ということですが、当然中身としては今後変わり得るものだとということで、捉えていただけるといいと思います。逆に意見をその都度お話ししていただいた方がこちらとしても、いろいろ考えやすくなるのかなと、ご意見を伺っている中で、感じたところでございます。いずれ何かありましたらコミュニティ会議とか、施設管理してい

る東和総合支所に、その都度お話しいただければ、できる範囲でということにはなりますけれども、検討させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○松葉 会長

はい、ありがとうございます。他に何かご質問ご意見等ございませんか。

それではせっかくお名前出たので、岡田さんなにかありますか。

○岡田委員

初めて参加しますが、いろいろ説明いただいて、大変なご苦労というか予算規模とか、すごく勉強になると思いました。より多くの人に、もちろん情報がオープンになると思いますが、ほとんどの方、特に若い方が素通りしてしまうっていう現状にあるのかなと、パブコメとかもオープンにされてると思うんですけど、ほとんど若い方で投稿したことあるという方はいないんじゃないかなって思っていました。

やっぱり情報が吸い上げづらいというか、これ東和地域に限ったことではないと思うのですが、いつオープンにされているのかとかホームページの見方とかちょっと取り上げづらいのかなってところが正直なところで、回覧板とかに広報もカラーで綺麗に見やすくいただいているんですけど、やっぱり共働きのうちで、じっくり見る方いるのかなとか、私は結構見るの好きなんですけど、そういうのは市民の努力が必要なのはもちろんなんですけど、働きかけというかそういうところが課題なのかなというのが一つ思ったところと、個人的には子供食堂とか遊び場マップっていう東和地域にこだわったマップ作りとか、有志でやっていて、あの施設、先ほども解体っていう名前、言葉を入れるとぐっとくるというか、あの寂しさというか、子供も減ってるのももちろんなんですけれど、いる子供たちとあと子育てしてる人たちと、あと子供食堂も地域みんなであってという方針でやっているの、そういうところを子供少なくても1人でもいる限り大事にしたいなという思いでお話を聞いてました。

○松葉会長

何かしらコメントありますか。

○小原課長

非常に参考になるお話ありがとうございます。

若い人たちも含めて、我々の情報発信、どうすれば伝わっていくのかとか、関心持っていただけなのかっていうのは、我々日頃課題として感じております。

今回もパブリックコメント、こうやって地域協議会や、この後も市民説明会があるんですが、実は3月にも、こういった基本方針の説明会を行いました、市内4地区回って結局各地域、1桁のご参加ということで、難しいなと思っております。

パブリックコメントにつきましても、花巻市のホームページや市の広報、有線放送などで紹介はしておりますが、今日のお話にしても抽象的でわかりづらい部分もあったかと思います。12月を目標に策定していこうと思っておりますが、策定した以降も、これをどう進めていくかについては、直接地域の皆さんのお話を聞きながら機会を作って進めていきたいと思っています。どうしたら伝わるかという部分は、非常に我々も実は苦慮しておりますが、今日いただいたお話も参考にさせていただきながら、さらに何か具体的な御提言等あればまたいろいろ教えていただければありがたいと思って聞かせていただきました。

貴重なご意見ありがとうございます。

●岡田委員

やっぱり共働きの人とかなかなか参加しづらい、昼も夜もっていうのはもちろんあると思います。あとはこういう堅苦しい会議、私も参加慣れしていないんですが、特にこれから若い人たちで話してっていうことであれば、何かもう少しフラットなというか、役場行くだけでも緊張するっていう人も私の知り合いとかにもいて、何かそういう部分、もう少し柔らかくなる方法は、私もいつも考えているんですが、具体的なところは浮かばないんですけど、なんか敷居を下げるじゃないですけど、そういうところが、案としてあるのかなって思いました。

○松葉会長

はい。ではそのような意見も取り入れていただいて、他に何かございませんか。

それでは、皆様貴重なご意見たくさん出たと思うので、できるだけ反映していただければなと思います。本日の議事は以上で終了です、委員の皆さんありがとうございます。

司会（及川）

委員の皆様、大変ご苦労様でした。

それでは、私からこの第3回の花巻市東和地域協議会、終了させていただきます。どうもありがとうございました。